

令和二年度（二〇二〇年度）哲学教室彙報

学事日程

二〇二〇年五月八日 ガイダンス（オンライン）

二〇二〇年一〇～一二月 修士論文・卒業論文中間発表会（木曜日三・四限「哲学討論」にて順次開催）

卒業論文

内山 実樹 「ルソーの「子ども」観と教育論、現代におけるその意義」

大西 茉奈 「空な名前を含む否定的存在言明について——クリプキとドネランの分析の批判的検討——」

沓澤しおり 「アリストテレス『ニコマコス倫理学』における快樂と幸福の関係について」

棚町 太陽 「『アガ멤ノン』二五八行～三五四行で示されるクリュタイメーストラの反骨心と説得力」

土肥 真樹 「ヤコービの哲学について、経験論と実在論から」

村木 太朗 「ショーペンハウアーの哲学における和声、旋律、基音——音楽と意志との関係性について——」

山縣 郷司 「対話という行為の善——プラトン『ゴルギアス』における対話の探究——」

修士論文

川村凜太郎 「アダム・スミスにおける想像力について——党派性問題をめぐって——」

教員の業績

石川 求

「研究論文」 「カントのオデュッセイア」 『東北哲学会年報』第三六卷、二〇二〇年六月、八九～一〇〇頁

栗原 裕次

〔研究論文〕「哲学と文学の対話——プラトン『政治家』篇のミュートス (268d5-274e3) ——」、浜本裕美・河島思朗編著『西洋古典学のアプローチ 大芝芳弘先生退職記念論集』（晃洋書房、二〇二一年一月）、第一〇章、二二八〜二五一頁

〔研究論文〕「『パルメニデス』篇「移行部」 (135b5-137c3) の研究——後期プラトン哲学へのプレリュード——」『人文学報』（東京都立大学人文科学研究科）第五一七八号〔今号〕、二〇二二年三月、一〜四六頁

〔学会発表〕“Two Images in Plato's *Statesman* 277a-d.” The 3rd Asia Regional Meeting of the International Plato Society (オンライン・ンウル国立大学) 二〇二〇年 一一月

小池 登

〔研究論文〕「隣友にして守護者——ピンダロス『ビューティア第八歌』五八〜六〇行——」、浜本裕美・河島思朗編著『西洋古典学のアプローチ 大芝芳弘先生退職記念論集』（晃洋書房、二〇二一年一月）、第五章、一〇二〜一二〇頁

木田 直人

〔研究論文〕「マルブランシュの体系において悪は実在するのか」『人文学報』（東京都立大学人文科学研究科）第五一七八号〔今号〕、二〇二二年三月、四七〜八二頁

〔編 集〕『哲学を創造する年刊誌 ひとおもい』（第二号）、東信堂、二〇二〇年

井原健一郎

〔研究論文〕「デカルトの循環 (一一二)」『人文学報』（東京都立大学人文科学研究科）第五一七八号〔今号〕、二〇二二年三月、八三〜一二二頁

〔研究論文〕「デカルトにおける二つの無差別について——一六四五年二月九日付メラン宛書簡の検討——」『倫理学年報』第七〇集、二〇二二年三月、八九〜一〇三頁